

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	介護支援サポーター事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課				
施 策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	石井 由美子				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	要支援、要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者	意図	高齢者の社会参加を通じた介護予防の推進を図る。
事業内容	介護支援サポーターとして登録を行った65以上の方が市内の介護施設（特別養護老人ホームやデイサービスセンターなど）で、サポーター活動（見守り、話し相手、レクリエーションの補助、配膳など）を行った場合に、その活動実績に応じた活動評価ポイントを転換交付金、ながぼんWAONポイントに交換できる制度である。			
事業開始から現在までの状況変化	平成25年4月1日から高齢者の積極的な社会参加を通じた介護予防の取組みを推進することを目的に事業がスタートした。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	介護支援サポーター登録者数	69	92	77	人	↑↑↑	登録者
②	累計登録者数	490	568	621	人	↑↑↑		
③	活動者数	239	254	220	人	↑↑↑	活動実績のある方	
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成29年度は、4回の制度説明会と5回の介護支援サポーター養成講座を実施した。今年度の介護支援サポーターの登録者は53名となった。 登録者のスキルアップのを目指しフォローアップ講座を計4回開催した。		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		12,639,733	12,549,865	11,134,213				
事業費(b)(円)		8,874,733	9,117,365	9,120,613				
うち一般財源								
職員給与と費(c)(円)		3,765,000	3,432,500	2,013,600				
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	ゆうゆう大学生に事業のPRを行う。また、介護支援サポーターとして登録したが、活動に繋がらないサポーターの活動に繋がるようなフォローアップの方法を検討していく。	③取組の課題	活動率は減少しているため、市民へのPRの機会を増やし、活動に繋げるための取組みが必要である。
②今年度(H29)に実施した取組	広報で周知をした。フォローアップ講座の中でサポーターと事業者の交流の場を設け、サポーターが活動しやすい環境づくりをした。	④今後(H30以降)の改善計画	活動者を増やしていくため引き続き養成講座を実施していき、フォローアップについても活動を続けてもらえるような内容を検討する。